

2021年度課題図書を紹介

第67回青少年読書感想文コンクール

課題図書紹介

中学校の部

課題図書 書名・著者・出版社・税込価格等	生徒向け紹介文	感想の視点と指導のポイント
<p>With you(ウィズ・ユー) くもん出版 濱野京子／作 1,430円</p>	<p>高校受験を控えた悠人。知り合いになった朱音の生活ぶりを知り、何とか力になれないものかと考えます。朱音はヤングケアラー。父親は単身赴任。その間、生活自体が不安定な母親を支えていました。トップクラスの高校生で優秀な悠人の兄に比べ、自分の負い目をどこか感じながらも、朱音を通して悠人は自分の生き方を探っていきます。</p>	<p>淡い恋愛を描きながらも、受験、自分の存在、気になる人への支援など、揺れ動く成長期の様子をリアルに綴っています。悠人の心の変化が微妙なタイミングで描かれていて、共感できる部分も多いことでしょう。ヤングケアラーの実態がわかりやすく表現され、社会問題にも関心が高まる作品です。</p>
<p>アーニャは、きっと来る 評論社 マイケル・モーパーゴ／作 1,540円</p>	<p>レスキュン村に住む羊飼いのジョー。フランスにも戦争の影響が押し寄せていました。そんな時、ユダヤ人の子ども達を安全なスペインに送るために翻弄しているベンジャミンと母親のオルカードに出会います。ドイツ兵から逃れるためにジョーは祖父と一緒に危険を承知で行動を起こします。果たしてベンジャミンの娘アーニャは現れるのでしょうか？</p>	<p>舞台はフランス山間部の村。第二次世界大戦の余波はこの村にも押し寄せ、人々は窮屈な生活を強いられることとなります。危険を承知でユダヤ人の子ども達をかくまうベンジャミン親子。その手伝いをするジョー。戦争と格闘する人々の姿がリアルに描かれています。</p>
<p>牧野富太郎：日本植物学の父 汐文社 清水洋美／文 1,760円</p>	<p>牧野富太郎の生涯を描いた作品。商家の跡取りとして生まれた富太郎ですが、小さい頃から植物への研究心が強く、身近な植物を追いかけます。早くに両親を亡くし、祖母に育てられましたが、祖母は富太郎を許容し、大きな支援を最期までしてくれます。結婚後も貧乏と戦いながら、植物研究を徹底して続ける富太郎の生き方に驚くことでしょう。</p>	<p>牧野富太郎の生家が裕福だったことが研究を続けられた要因でもありますが、それ以上に、富太郎が植物に魅せられ、日本には無かった図鑑を作り上げていく過程に感心します。生活を犠牲にしてまでも研究心を露わにする富太郎。支えた祖母、妻、子ども達の献身ぶりも見逃せません。</p>

藤田利江(SLPA 学校図書館実践活動研究会理事)